



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月7日

上場会社名 日本新薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4516 URL <http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前川 重信  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務部長 (氏名) 櫻井 太郎 TEL 075-321-9114  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向けカンファレンスコール)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	29,391	5.7	6,453	33.1	6,585	23.8	4,951	24.9
2019年3月期第1四半期	27,798	14.8	4,846	△3.3	5,320	△1.1	3,964	0.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 3,884百万円 (14.1%) 2019年3月期第1四半期 3,403百万円 (△33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	73.51	—
2019年3月期第1四半期	58.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	168,934	136,307	80.5	2,019.96
2019年3月期	168,763	135,190	80.0	2,003.39

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 136,052百万円 2019年3月期 134,936百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	29.00	—	41.00	70.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	43.00	—	43.00	86.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	57,000	6.5	10,000	32.1	10,700	30.5	8,200	35.8	121.74
通期	116,000	1.1	21,000	1.7	22,000	2.1	16,500	1.2	244.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	70,251,484株	2019年3月期	70,251,484株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,897,411株	2019年3月期	2,897,365株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	67,354,107株	2019年3月期1Q	67,354,720株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、カンファレンスコール（電話会議）による機関投資家・アナリスト向け決算説明会を2019年8月7日17時より開催する予定です。この説明会で使用する資料については、決算発表と同時に当社ウェブサイトで開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 主力製品売上高	9
(2) 製品開発状況	10
(3) 製品開発状況・補足資料	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の業績は、売上高は293億9千1百万円と対前年同期比5.7%の増収となりました。利益面は、増収と売上構成による売上原価率の低下により、営業利益は64億5千3百万円と対前年同期比33.1%の増益、経常利益は65億8千5百万円と対前年同期比23.8%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億5千1百万円と対前年同期比24.9%の増益となりました。

医薬品事業では、自社創薬品の肺動脈性肺高血圧症治療剤「ウブトラビ」の国内売上ならびに同製品の海外売上に伴うロイヤリティ収入、骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ」、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤「ザルティア」等が伸長しました。加えて昨年8月に中外製薬株式会社と共同で販売を開始したCD20陽性の濾胞性リンパ腫治療剤「ガザイバ」が寄与し、売上高は256億5千2百万円と対前年同期比6.6%の増収となりました。

機能食品事業では、プロテイン製剤は減収となりましたが、サプリメント等の売上が増加し、売上高は37億3千9百万円と対前年同期とほぼ横ばいとなりました。

## [研究開発の状況]

## (国内開発状況)

- ・肝類洞閉塞症候群 (SOS) / 肝中心静脈閉塞症 (VOD) 治療剤「NS-73 (一般名: デフィプロチドナトリウム)」については、2017年3月にジャズ・ファーマシューティカルズ社 (アイルランド) より導入し、昨年9月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受け、本年6月に承認されました。また、昨年6月よりSOS/VODの予防を対象とした第三相試験を、ジャズ・ファーマシューティカルズ社と共同で開始しました。
- ・「NS-304 (一般名: セレキシバグ)」については、慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象とした第三相試験を、アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で実施中です。同効能・効果については、2016年6月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けました。また閉塞性動脈硬化症を対象とした後期第二相試験を、日本新薬が単独で実施中です。さらに腰部脊柱管狭窄を対象とした前期第二相試験を、日本新薬が単独で昨年2月より実施中です。
- ・鉄欠乏性貧血治療剤「NS-32」については、2016年12月にファーマコスモス社 (デンマーク) から導入し、本年3月より第三相試験を開始しました。
- ・難治てんかん (ドラベ症候群およびレノックス・ガストー症候群) 治療剤「ZX008」については、本年3月にゾゲニクス社 (米国) から導入し、ゾゲニクス社が第三相試験を実施中です。
- ・子宮内膜症治療剤「NS-580」については、2017年7月より前期第二相試験を実施中です。
- ・「NS-17 (一般名: アザシチジン)」については、昨年1月より急性骨髄性白血病を対象とした第二相試験を実施中です。
- ・デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤「NS-065/NCNP-01 (一般名: ビルトラルセン)」については、第一/二相試験を終了しました。本剤は、2015年10月に厚生労働省より「先駆け審査指定制度」の対象品目として指定されました。
- ・二次性急性骨髄性白血病治療剤「NS-87」については、2017年3月にジャズ・ファーマシューティカルズ社から導入し、第一/二相試験を準備中です。
- ・再発・難治性急性骨髄性白血病治療剤「NS-917」については、2017年3月にデルタフライファーマ株式会社 (徳島市) より導入し、開発準備中です。

## (海外開発状況)

- ・合成抗菌剤「プルリフロキサシン」については、中国において導出先のリーズ・ファーマ社 (香港) が第三相試験を終了し、2017年9月に承認申請しました。
- ・「NS-304」については、慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象とした第三相試験を導出先のジョンソン・エンド・ジョンソン社が本年3月より開始しました。
- ・「NS-065/NCNP-01 (一般名: ビルトラルセン)」については、米国において第二相試験を実施し、本年2月より段階的承認申請を開始しました。本剤は、FDAより2016年10月にファストトラック指定を受け、さらに2017年1月にはオーファンドラッグ指定および希少小児疾患指定を受けました。
- ・骨髄線維症治療剤「NS-018」については、米国において次試験を準備中です。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、1,689億3千4百万円と前連結会計年度末に比べ1億7千万円増加しました。流動資産は、現金及び預金等が増加しましたが、有価証券、受取手形及び売掛金、たな卸資産が減少し、1,106億5千7百万円と前連結会計年度末に比べ6千3百万円減少しました。固定資産は、有形固定資産が増加し582億7千6百万円と前連結会計年度末に比べ2億3千3百万円増加しました。

負債は、賞与引当金、支払手形及び買掛金等が増加しましたが、未払金、未払法人税等が減少し326億2千6百万円と前連結会計年度末に比べ9億4千5百万円減少しました。

純資産は、利益剰余金が増加し、1,363億7百万円と前連結会計年度末に比べ11億1千6百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね当初の計画に沿って推移しており、連結業績予想につきましては、本年5月13日の決算公表時より変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,519	31,851
受取手形及び売掛金	45,982	45,500
電子記録債権	573	617
有価証券	10,619	10,129
商品及び製品	14,064	12,956
半製品	1,050	1,656
仕掛品	311	329
原材料及び貯蔵品	3,946	4,261
その他	2,651	3,352
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	110,720	110,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,206	9,212
土地	7,463	7,463
その他(純額)	3,905	4,176
有形固定資産合計	20,575	20,852
無形固定資産	412	397
投資その他の資産		
投資有価証券	23,460	21,795
繰延税金資産	2,330	3,019
長期前払費用	8,765	9,725
その他	2,497	2,485
投資その他の資産合計	37,054	37,026
固定資産合計	58,042	58,276
資産合計	168,763	168,934

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,986	8,535
未払金	7,449	6,565
未払法人税等	3,597	1,898
賞与引当金	2,929	4,381
その他	3,444	3,464
流動負債合計	25,406	24,846
固定負債		
繰延税金負債	2	2
退職給付に係る負債	7,843	7,457
その他	320	320
固定負債合計	8,165	7,780
負債合計	33,572	32,626
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,445	4,445
利益剰余金	121,677	123,866
自己株式	△2,469	△2,469
株主資本合計	128,827	131,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,440	8,289
繰延ヘッジ損益	△5	△6
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整累計額	△3,326	△3,247
その他の包括利益累計額合計	6,109	5,035
非支配株主持分	253	254
純資産合計	135,190	136,307
負債純資産合計	168,763	168,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	27,798	29,391
売上原価	13,220	13,300
売上総利益	14,577	16,091
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,677	1,735
賞与引当金繰入額	966	983
販売促進費	1,165	1,352
退職給付費用	175	187
減価償却費	106	82
研究開発費	3,065	2,969
その他	2,574	2,329
販売費及び一般管理費合計	9,731	9,637
営業利益	4,846	6,453
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	253	289
受取賃貸料	123	114
為替差益	182	—
その他	20	48
営業外収益合計	582	455
営業外費用		
支払利息	1	0
寄付金	13	85
賃貸費用	42	33
為替差損	—	162
その他	51	41
営業外費用合計	108	323
経常利益	5,320	6,585
税金等調整前四半期純利益	5,320	6,585
法人税、住民税及び事業税	1,673	1,847
法人税等調整額	△323	△219
法人税等合計	1,350	1,627
四半期純利益	3,970	4,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,964	4,951



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	3,970	4,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△633	△1,150
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	△15	△0
退職給付に係る調整額	80	79
その他の包括利益合計	△566	△1,073
四半期包括利益	3,403	3,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,397	3,877
非支配株主に係る四半期包括利益	6	6

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	24,060	3,738	27,798	—	27,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,060	3,738	27,798	—	27,798
セグメント利益	4,665	181	4,846	—	4,846

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	25,652	3,739	29,391	—	29,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,652	3,739	29,391	—	29,391
セグメント利益	6,199	254	6,453	—	6,453

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 主力製品売上高

(単位:百万円)

製 品 名	薬 効	第1四半期				第2四半期	通期
		2019年 3月期	2020年 3月期	前年同期 増減率	対第2四半期 累計予想進捗率	累計	2020年 3月期(予)
ビダーザ	骨髄異形成症候群治療剤	3,432	3,912	14.0%	52.2%	7,500	14,500
ザルティア	前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤	2,982	3,401	14.0%	52.3%	6,500	13,000
トラマール・ワントラム	がん疼痛・慢性疼痛治療剤	1,862	1,940	4.2%	51.1%	3,800	7,500
ウプトラビ	肺動脈性肺高血圧症治療剤	1,152	1,566	35.9%	46.1%	3,400	7,300
アドシルカ	肺動脈性肺高血圧症治療剤	1,386	1,452	4.8%	51.9%	2,800	5,400
シアリス	勃起不全(ED)治療剤	1,151	1,073	△ 6.8%	53.7%	2,000	3,700
ガザイバ	CD20陽性の濾胞性リンパ腫治療剤	-	1,014	-	63.4%	1,600	3,500
ルナベル	月経困難症治療剤	1,379	598	△ 56.6%	54.4%	1,100	2,000
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	507	539	6.3%	59.9%	900	2,050
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	603	499	△ 17.1%	50.0%	1,000	1,800
エリザス	アレルギー性鼻炎治療剤	457	396	△ 13.2%	61.0%	650	2,700
共同販促収入		1,337	1,464	9.6%	56.3%	2,600	5,800
工業所有権等収益		3,092	3,822	23.6%	49.0%	7,800	16,800
医薬品 計		24,060	25,652	6.6%	51.7%	49,600	101,100
機能食品 計		3,738	3,739	0.0%	50.5%	7,400	14,900
売上高		27,798	29,391	5.7%	51.6%	57,000	116,000

(参考)

	第1四半期				第2四半期	通期	
	2019年 3月期	2020年 3月期	前年同期 増減率	対第2四半期 累計予想進捗率	累計	2020年 3月期(予)	2020年 3月期(予)
販売費及び一般管理費	6,665	6,668	0.1%	47.6%	14,000	28,300	
研究開発費	3,065	2,969	△ 3.2%	41.8%	7,100	15,100	

(2) 製品開発状況

<国内開発状況>

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
発売準備中	NS-73 (テファイブ・ロフトナトリウム)	血液がん	肝類洞閉塞症候群/肝中心静脈閉塞症 (治療)	導入：ジヤズ・ファーマ シューティカルス社	自社
P III	NS-73 (テファイブ・ロフトナトリウム)	血液がん	肝類洞閉塞症候群/肝中心静脈閉塞症 (予防)	導入：ジヤズ・ファーマ シューティカルス社	共同：ジヤズ・ファーマ シューティカルス社
P III	NS-304 (レキシバゲ)	難病・希少疾患	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	自社	共同： アクテリオンファーマシューティカルス ジャパン株式会社
P III	NS-32	婦人科疾患	鉄欠乏性貧血	導入：ファーマコスモス社	自社
P III	ZX008	難病・希少疾患	ドラベ症候群 レノックス・ガストー症候群	導入：ゾゲニクス社	ゾゲニクス社
P II	NS-304 (レキシバゲ)	循環代謝系	閉塞性動脈硬化症	自社	自社
P II	NS-304 (レキシバゲ)	整形外科	腰部脊柱管狭窄	自社	自社
P II	NS-580	婦人科疾患	子宮内膜症	自社	自社
P II	NS-17 (アザシチン)	血液がん	急性骨髄性白血病	導入：セルゲン社	自社
P I/II	NS-065/ NCNP-01 (ヒトルルゼ)	難病・希少疾患	デュシェンヌ型 筋ジストロフィー	共同：国立精神・神経医 療研究センター	自社
P I/II 準備中	NS-87	血液がん	二次性急性骨髄性白血病	導入：ジヤズ・ファーマ シューティカルス社	自社
開発準備中	NS-917	血液がん	再発・難治性急性骨髄性白血病	導入： デルタファイファーマ株式会社	自社

<海外開発状況>

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
申請中	NM441 (ブルフロキサシ)	感染症	合成抗菌剤	自社	導入：リーズ・ファーマ社
P III	NS-304 (レキシバゲ)	難病・希少疾患	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	自社	導入： ジョンソン・エンド・ジョンソン社
段階的承認 申請	NS-065/ NCNP-01 (ヒトルルゼ)	難病・希少疾患	デュシェンヌ型 筋ジストロフィー	共同：国立精神・神経医 療研究センター	自社
P I/II	NS-018	血液がん	骨髄線維症	自社	自社

## (3) 製品開発状況・補足資料

発売準備中	
NS-73 (デファイブ®ナトリウム)	造血細胞移植後の重篤な合併症である肝類洞閉塞症候群 (SOS) / 肝中心静脈閉塞症 (VOD) の治療剤である。SOS / VODは、主に造血細胞移植前に行う大量抗がん剤投与や高用量の放射線照射等により、移植後約10%に発現し、重症化すると多臓器不全により80%以上が死亡に至る疾患である。本剤は欧米のガイドラインで唯一のSOS / VOD治療剤と位置づけられており、欧米を始め世界各国で発売されている。2017年3月にジャズ・ファーマシューティカルズ社 (アイルランド) から導入し、2018年9月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けた。2018年10月に国内における製造販売の承認申請を行い、2019年6月に肝類洞閉塞症候群 (肝中心静脈閉塞症) 治療剤として承認を取得した。
フェーズ III	
NS-73 (デファイブ®ナトリウム)	造血細胞移植後の重篤な合併症である肝類洞閉塞症候群 (SOS) / 肝中心静脈閉塞症 (VOD) の予防剤である。2018年6月よりPIII試験をジャズ・ファーマシューティカルズ社と共同で開始した。
NS-304 (レキシパ®)	慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象として、2016年6月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けた。PIII試験をアクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で2016年6月より実施中である。国外では、導出先のジョンソン・エンド・ジョンソン社が2019年3月よりPIII試験を開始した。
NS-32	既存薬に比べて、少ない投与回数で安全に高用量の鉄補充が可能な静注の鉄欠乏性貧血治療剤で、世界各国で発売されている。2016年12月にファーマコスモス社 (デンマーク) から導入し、2019年3月より自社単独で国内PIII試験を開始した。
ZX008	乳幼児期に発症する難治性かん症候群であるドラベ症候群およびレノックス・ガストー症候群の治療薬である。導入元のゾゲニクス社が、ドラベ症候群に伴う発作の治療薬として既に米国食品医薬品局 (FDA) 及び欧州医薬品庁 (EMA) に承認申請している。レノックス・ガストー症候群に対してはグローバルでのPIII試験を実施中である。ゾゲニクス社は、日本においても上記2症候群に対して、承認申請のための臨床試験を実施中である。
フェーズ II	
NS-304 (レキシパ®)	閉塞性動脈硬化症を対象としたP II a試験を終了し、2016年8月よりP II b試験を自社単独で実施中である。また、腰部脊柱管狭窄を対象としたP II a試験を、2018年2月より自社単独で実施中である。
NS-580	自社開発した経口投与可能な膜結合型プロスタグランジンE合成酵素-1 (mPGES-1) 阻害剤で、ホルモン作用のない子宮内膜症治療剤である。選択的にPGE2の産生を阻害することで、鎮痛効果と病巣の改善効果が期待される。2017年7月よりP II a試験を実施中である。
NS-17 (アザチジン®)	急性骨髄性白血病 (AML) を対象として、2018年1月よりP II試験を実施中である。
フェーズ I/II	
NS-018	自社開発したJAK2阻害剤で、強力な阻害作用と活性型JAK2に対する選択性が高いことから、骨髄線維症治療剤として有効性の向上と副作用の軽減が期待される。国内の患者数が少ないことから、米国での臨床試験を先行しており、次試験を準備中である。
NS-065 / NCNP-01 (ヒルトアルゼン®)	自社開発したアンチセンス核酸医薬品で、変異を受けたジストロフィン遺伝子のエクソン53をスキップさせることでジストロフィンタンパク質の発現を誘導する注射剤である。2015年10月「先駆け審査指定制度」の対象品目として指定された。2016年1月に治験届を提出、P I / II試験を実施し、終了した。また、米国では2016年3月に治験届を提出、P II試験を実施し、2019年2月より段階的承認申請を開始した。FDAより2016年10月にはファストトラック指定、2017年1月にはオーファンドラッグ指定および希少小児疾患指定を受けた。
フェーズ I/II 準備中	
NS-87	急性骨髄性白血病 (AML) のうち、他疾患の治療により生じたAML (治療関連AML) や骨髄異形成症候群から移行したAMLなどの二次性AMLに対する国内初の治療剤である。本剤は、シタラビンとダウノルビシンを抗腫瘍効果が最も高くなる割合でリポソーム化した製剤で、骨髄に集積し易い性質により、高い有効性と副作用の低減が期待される。2017年3月にジャズ・ファーマシューティカルズ社 (アイルランド) から導入し、国内P I / II試験を準備中である。海外ではジャズ・ファーマシューティカルズ社が開発し、米国で2017年8月に承認され、欧州では、2018年8月にEMAより承認された。
開発準備中	
NS-917	DNAに取り込まれて殺細胞活性を示す作用メカニズムを持つ再発・難治性急性骨髄性白血病治療剤である。低用量持続静注により高い有効性を示し高齢者にも投与できる安全性が高い薬剤として期待される。2017年3月にデルタフライファーマ株式会社 (徳島市) より導入し、国内における開発を準備中である。海外ではデルタフライファーマ株式会社がPIII試験を準備中である。